

近現代日本教員史研究

船寄俊雄・近現代日本教員史研究会編著 4950円
わが国の教員史を明治期から現在まで通史的に叙述し、教師のしごとに対する歴史的展望を描く。「知の足腰の強い教職観」の形成に向けて、これからのあるべき教師像を探る。

日本数学教育史研究 上巻・下巻

上垣 渉著 各巻22000円
幕末・明治期から昭和30年代までの約90年間にわたる我が国の初等中等数学教育の歴史を総合的に論述した学術書。
上巻 好評発売中／下巻 2022年10月刊行予定

海軍飛行予科練習生の研究

白岩 伸也著 7700円
海軍飛行予科練習生制度の成立と展開の過程、それがもたらした戦後の問題について、軍関係教育機関としての制度的位置づけに焦点をあて、新資料から考察する。

近江学園・びわこ学園における重症児者の「発達保障」

垂髪あかり著 8250円
近江学園・びわこ学園における重症児者の「発達保障」のあゆみについて、思想史研究、施設実践史研究、個別事例研究を連関させた複合的アプローチにより検討。

大学生のための中等社会科・地理歴史科・公民科概論

田部俊充・田尻信壹・小松伸之編著 2200円
中等社会科、地理歴史科、公民科の目標や内容を理解するとともに、教員として求められる実践的指導力を高めること目的としたテキスト。

産業教育学—産業界と教育界の架け橋—

三好 信浩著 2750円
著者長年の研究成果から、産業界と教育界の協力で不可欠な新しい学問領域「産業教育学」を確立。刻々と変化していく産業社会に対応するための人間育成論を展開。

中等社会系教科教育研究

中平一義・茨木智志・志村喬編著 1980円
中学校の社会科と高等学校の地理歴史科・公民科についてその目的や理念、学習指導要領の読み方や学習評価について詳細に解説する。

器楽教育成立過程の研究

檜下 達也著 9900円
器楽教育はどのような歴史的変遷を経て、初等教育に成立したのか。音楽教育研究団体に着目し、実践相互の関係や現場教師と楽器産業界および教育行政の関係を考察。

米国社会科成立期におけるシティズンシップ教育の変容

斉藤仁一朗著 9900円
20世紀初頭の米国でなぜ「社会科」が誕生したのか？市民育成を主目的に掲げる教科誕生の過程に注目し、「市民」を育てる教育が抱える包摂や排除の論理を描き出す。

戦後日本教員養成の歴史的研究

土屋 基規著 15400円
戦後日本の教員養成改革理念の成立と制度原則の展開を歴史的に記述した著者長年にわたる研究の集大成。巻末に戦後日本教師教育問題年表を付す。

戦前の東京市の初等教育と「特別な教育的配慮・対応」の研究

石井 智也著 8250円
戦前日本の初等教育にて子どもの多様な就学困難に応じた「特別な教育的配慮・対応」がいかなる経緯で誕生し、制度化されたのか、東京市を事例に実証的に解明。

評伝 成瀬仁蔵—女子高等教育から「社会改良」へ—

片桐芳雄著（発行：日本女子大学 発売：風間書房） 4950円
女子教育を通して理想的社会を造るべく「社会改良者」となり、新たな世界観を創造しようとした成瀬仁蔵の精神を紐解く。女性の社会進出が問われる現代に問題を提起。

石森延男研究序説

宇賀神 一著 7700円
戦後国語教育の立役者とされる石森延男は、「満洲」から文部省に招聘され戦時下の国定教科書を編纂した人物でもあった—教科書編纂者の視点から描く国語教科書史。

近代日本書字教育史研究

鈴木 貴史著 9900円
言語理解と言語表現の二つの側面に着目しながら言語教育として国語科書写が成立するまでを歴史的に辿り、今後の手書きによる書字教育の可能性を探る。

新しい歴史教育論の構築に向けた日独歴史意識研究

宇都宮明子著 10450円
日本とドイツの歴史意識研究の比較検討から構想した歴史教育論に基づく日本史授業の開発を通して、両国の研究、理論と実践を架橋した研究方法論を提起する。

教員自主研修法制的展開と改革への展望

久保富三夫著 12650円
前著「戦後日本教員研修制度成立過程の研究」を基盤に、戦後自主研修法制的展開を歴史的・原理的・総合的に考察。「学び続ける教員像」実現のための著者渾身の提言。

近代日本郷土教育実践史研究

板橋 孝幸著 10450円
日本で初めて郷土教育が全国的な運動として展開した昭和戦前期に焦点をあて、学校教育と社会教育を結びつけた郷土教育の理念と実践過程を解明する。

占領期日本における学校評価政策に関する研究

福嶋 尚子著 12650円
占領期の日本で展開されてきた新制高等学校の学校評価政策を素材とし、学校の水準保障を目的とする政策構想と政策過程について解明する。

日本における高齢者教育の構造と変遷

久保田治助著 7150円
近代以降の日本高齢者教育の変遷を、各時代の社会状況と高齢者像をもとに考察。戦後の高齢者教育の構造と展開を学習理念と学習内容を中心に分析した総体的な書。

ウイネトカ・プランにおける教職大学院の成立過程

宮野 尚著 8250円
本書は、ウイネトカ公立学校の改革の中で、現職教師が主体となり教職大学院を創設していく過程を明らかにし、その意義を考察したものである。

東アジアにおける法規範教育の構築

梅野正信・福田喜彦編著 4180円
東アジア地域では「法規範」をどう教えているのか？人文科学や社会科学を基にした市民性概念の検討から、人権感覚と規範意識を醸成する学校教育のあり方を提起する。

濃尾震災(1891年)における子ども救済と特別教育史研究

能田 昂著 予価7700円
「災害・感染症パンデミック・戦争等の災禍と子ども救済の特別教育史」の開拓をめざし、濃尾震災(1891年)における子どもの被災・救済の実態を実証的に解明した。